



思齊のしせい

大阪府立思齊支援学校 支援室だより

第44号

令和3年6月16日

これから「自閉スペクトラム」「愛着障がい」「身体の動き」という3つのテーマで連載します。最初のテーマは、「自閉スペクトラム」。今回の担当は小学部の山田です。これから、連載するにあたって「自閉スペクトラム」について、基本的な情報をまとめました。

自閉スペクトラム (ASD) とは・・・

1. 複数の状況で社会的コミュニケーション・対人的相互反応における持続的欠陥があること。
2. 行動、興味、または活動の限定された反復的な様式が2つ以上あること (常同的、反復的な身体の運動や会話、固執やこだわり、極めて限定され執着する脅威、感覚刺激に対する過敏さまたは鈍感さなど)
3. 発達早期から、1, 2の症状が存在すること
4. 発達に応じた対人関係や学業的・職業的な機能が障がいされていること
5. これらの障がい知覚障がいや全般的な発達の遅れでは説明できないこと

DSM-5 (精神障がいの診断・統計マニュアル第5版より)

スペクトラムとは・・・

連続体を意味する。自閉性障がいとアスペルガー障がいなど、多様な自閉症とその周辺、また、健常と障がいの間に境界線を引かず、連続性として考えることを指している。虹を見て、どこからか赤でどこからかオレンジというきれいな線はなく、徐々に色が変化していく。自閉症についても、その連続体の中にあるということ。



対人性の障がい

- ・乳幼児早期から視線が合わない。場面が理解できない。
- ・他者との関心の共有が苦手。
- ・他人の感情、気持ちの理解が難しい。
- ・相手の立場でものを考えることができない。
- ・共感性が弱い。
- ・場の雰囲気を読み取れない。
- ・人との距離の取り方が下手。
- ・相手の行動が真似できない。

言語・コミュニケーション障がい

- ・語用論の障がいを中心。
- ・格式ばった字義どおりの言語。
- ・冗談、皮肉が分からない。
- ・言葉の「やりとり」が困難で一方的。会話が成り立たない。
- ・相手の表情が読めない。
- ・ジェスチャーの理解と使用が困難。
- ・無意味語、CMのフレーズなど同じ言葉を繰り返す「エコラリア」が多い。

想像力の障がいと特異的な行動

- ・一つの興味、事柄に関心が限定。
- ・おもちゃを一列に並べる。
- ・行動にこだわりがある。
- ・感覚の過敏さ、鈍感さがある。
- ・常同行動がある。(くるくる回る、身体をゆする、飛び跳ねるなど)
- ・ごっこ遊びができない。
- ・自傷行為が見られる。



自閉スペクトラムは多様性が高く、1人1人異なります。中でも、感覚の障がいは、騒がしいところが苦手で頭が痛くなる、タグがチクチクする、シャワーが痛い、髪や爪が切れない、匂いに敏感、光の感受性が強いためにまぶしく感じやすいなど、その過敏さや鈍感さには多様な状態があります。

参照 YOUTUBE くじらチャンネル

「発達障害の一種、自閉スペクトラム症/障害 (ASD) の基本的理解: 竹田契一先生 (大阪医科薬科大学 LD センター)」

<https://www.youtube.com/watch?v=ipPkHNElyrE&t=1073s>

※大阪医科薬科大学 LD センターの YOUTUBE チャンネルです。他にも、動画があります。